



新年のごあいさつを申し上げます

2023年が明けました。こちらは真夏のお正月ですが、日本の皆さまはどのような新年を迎えられたでしょうか。

ブラジルでは1月1日に新大統領就任式が行われ、政治が大きな転換点を迎えています。かつて汚職で収監されていた左派労働党のルーラ氏が大統領に返り咲き、新たな歴史を刻み始めました。新政権の舵取りを祈りながら見守っていきたいと思います。

昨年12月のクリスマスは多くの恵みをいただきました。ヴァルゼンボニータのクリスマス会は12月4日に開催、吉田宅のガレージには70名を超える人々が集いました。暗雲が覆う中でも最後まで雨は落ちることなく、主は多くの人々を導いてくださいました。ちょうどヴァルゼンの婦人会と日程が重なり、最初は出席できないと言われていた婦人たちが、婦人会を早めに切り上げてクリスマス会に駆けつけてくださったことは大きな喜びでした。それは信頼関係が深まっていることの証しでもありました。

ルイス兄弟によるマジックショー（写真下）では参加者全員の心が開かれ、小さな子どもたちも胸を躍らせていました。私はクリスマスのメッセージを語りました。長引くパンデミックや戦争で分断や対立、孤独の闇が深まっていく中であっても、主イエスは「インマヌエルの主」として私たちを訪れ、私たちを罪の闇から贖い出してください。このお方を心にお迎えしましょうと勧めました。

新しい年もヴァルゼンボニータの群れが主の導きに従って成長し、教会としての実質を備えていくことができるように祈らされています。主の御声に聞き従う羊がさらに加えられ、ふさわしい会堂が備えられ、主をおそれて礼拝する聖徒の群れへと成長できるように。

「主イエスよ、来てください（マラナ・タ）」黙示録22:20 初代教会から続くこの祈りをもって新しい年を踏み出したいと願っています。皆さまのお祈りとご支援に感謝して。



マジシャンのルイス兄弟と奥様の瞳さん（左端）
建築士の瞳さんは会場の飾り付けをしてくださいました。



真理生 陽子 翔 献 聖也 湧希

近況と祈りのお願い

・ブラジリア アライアンス キリスト宣教教会
12/25のクリスマス礼拝には140名ほどが集い、新来者や久しぶりの方も出席、食事の交わりもでき感謝。一人ひとりが主イエスの幹にしっかりと繋がっていくように。教会の牧師館と食堂の改築工事が最善に導かれるように。闘病中の兄弟姉妹に癒しと慰め・励ましを。

・ヴァルゼンボニータの開拓／各地の訪問伝道
高齢の一世の方々を救われ、その家族も導かれるように。ヴァルゼンの礼拝の祝福、ふさわしい会堂の取得のため。

・私たち家族のため
長男真理生は昨年10月に大学入学、医学の学びのため。次男湧希は1月より高校2年、将来の志が明確になるように。三男聖也は中学2年、洗礼に導かれるように。四男翔は5年生、場面緘黙症の療育が進展するように。年末に長男は前歯を折るアクシデント、よき治療と歯の再生のために。

2022年 献金のご報告と感謝

(2022. 9-12月分)

指定献金: 1,125,525 円 (1-12月累計: 3,063,746 円)

*現地支援: 352,400 円 (1-12月累計: 864,930 円)

合計: 1,477,925 円 (1-12月累計: 3,928,676 円)

*2022年の目標額350万円が満たされました！皆さまの尊いご支援に支えられて宣教のわざに専心できた2022年でした。主の御名を崇めつつ、諸教会の皆さまお一人ひとりに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2023年 献金目標額：410万円

(「浜田宣教師指定」310万円+現地支援100万円)

昨年から続く円安とインフレの影響で目標額がアップしました。全ての必要を満たしてください主の御名に信頼し、本年も宣教のわざに励みます。皆さまのお祈りとご支援を何卒お願い申し上げます。

●オンラインでの説教奉仕や宣教報告も随時受け付けています。「-12時間」の時差があるので日曜朝の礼拝奉仕も可能です。